◆好調カテゴリ別　金額市場規模前年比一覧

主食

前月よりもわずかに落ち込み、前年比99.9%と前年をやや下回った。乾麺など気温上昇の影響で好調なカテゴリーがあるものの、前年に内食・備蓄需要で伸長したカテゴリーで反動が見て取れる。
「菓子パン・調理パン」：前年同月よりも外出が増えたことで需要が高まったと推察。
「シリアル類」：オートミールがけん引。オートミールは、食物繊維等の栄養素を豊富に含んでおり、米の代わりに使用するレシピなども注目を集めたことで人気となっていると考えられる。
「乾麺」：前年より梅雨明けが早まり気温が上昇したことで、そうめんやひやむぎが伸長。
「生麺・ゆで麺」：気温上昇の影響により、そうめんのほか、冷やし中華や冷麺用のものが伸長。

カテゴリー	金額前年比 2021年7月	前月差 2021年7月
主食　TOTAL	99.9	-0.5
米		
米飯類	103.4	-5.4
食パン		
菓子パン・調理パン	105.6	-0.3
シリアル類	106.1	-5.4
袋インスタント麺		
カップインスタント麺		
乾麺	120.6	30.5
生麺・ゆで麺	104.0	10.0
スパゲティ		
マカロニ類		
小麦粉		
てんぷら粉		
唐揚げ粉		
パン粉		
プレミックス		

調味料

前月よりもわずかに落ち込み、前年比97.0%と前年を下回った。主食同様に、前年の内食・備蓄需要の反動が見て取れる。
「シロップ類」：気温上昇の影響により、かき氷シロップが伸長。
「つゆ・煮物料理の素」：気温上昇の影響により、めんつゆが伸長。

カテゴリー	金額前年比 2021年7月	前月差 2021年7月
調味料　TOTAL	97.0	-0.1
醤油		
味噌		
食塩	103.6	-1.4
料理酒		
砂糖		
低カロリー甘味料	102.2	-3.2
シロップ類	115.2	31.5
蜂蜜		
ソース		
ケチャップ		
マヨネーズ		
ドレッシング	100.3	4.2
香辛料	101.3	2.2
エッセンス類		
焼肉シャブシャブのタレ		
食酢		
ぽん酢	101.3	8.9
本みりん		
みりん風調味料		
風味調味料		
削り節		
煮干し		
わかめ・こんぶ類		
つゆ・煮物料理の素	109.7	14.9
サラダ油・天ぷら油		
ゴマ油	102.4	5.0
バター		
マーガリン類		
チーズ		
ジャム・ママレード		

※網掛け
前年比 105%超：

加工食品①

前月よりも落ち込んだものの、前年比101.0%と前年を上回った。
「冷凍水産」：さまざまな料理に使用しやすいためか、シーフードミックス・イカ・アサリなどの商品が好調を維持。
「冷凍調理」：簡便さが支持されたためか、おかずや軽食、ケーキ等のデザート用の商品が好調。

カテゴリー	金額前年比 2021年7月	前月差 2021年7月
加工食品①　TOTAL	101.0	-2.3
春雨・くず切り		
こうや豆腐		
海苔		
ふりかけ		
お茶漬けの素	100.9	-3.9
まぜご飯の素		
カレー		
シチュー		
パスタソース		
シチューベース		
メニュー専用料理の素		
スープ類		
味噌汁・吸物類		
調理用スープ		
冷凍水産	110.3	-6.3
冷凍農産	103.4	-2.8
冷凍調理	107.0	1.4

加工食品②

前月よりも落ち込み、前年比99.3%と前年をやや下回った。簡便さや、家飲みでのおつまみ需要からか、以下のカテゴリー商品の好調が見て取れた。
「和風食品」：味付け玉子や鯛焼きなどの商品が好調。
「洋風食品」：ピザや焼きチキンなどの商品が好調。
「焼豚」：厚切りタイプがとりわけ好調。気温上昇の影響で、冷やし中華用の需要も高まったと推察される。

カテゴリー	金額前年比 2021年7月	前月差 2021年7月
加工食品②　TOTAL	99.3	-1.3
魚介類缶詰		
野菜缶詰		
フルーツ缶詰		
畜肉缶詰		
パウチ入り食材	100.4	-9.4
和風食品	112.4	0.9
洋風食品	103.1	-1.8
中華風食品		
畜肉ハム	101.4	3.6
畜肉ソーセージ		
魚肉ソーセージ		
焼豚	103.3	0.7
ベーコン		

加工食品③

前月よりも落ち込み、前年比97.0%と前年を下回った。外出自粛の長期化による家事疲れや、気温上昇の影響のためか、和風料理用の加工食品で苦戦が見て取れる。
「かまぼこ」：かにかまやチーズ等の具材入りの商品が好調で、家飲みでのおつまみ需要が高まっているためと考えられる。

カテゴリー	金額前年比 2021年7月	前月差 2021年7月
加工食品③　TOTAL	97.0	-1.1
かまぼこ	101.0	-0.1
ちくわ		
はんぺん		
揚げ物		
納豆		
煮豆		
佃煮		
もずく・めかぶ	100.5	0.0
豆腐類		

菓子

前月よりも落ち込み、前年比98.1%と前年を下回った。
「ビスケット＆クラッカー」：人気テレビアニメのキャラクター商品や、ピスタチオ風味等の新商品の寄与もあり伸長。
「玩具メーカー菓子」：前年前月に大幅に伸長した反動もあり勢いは弱まったものの、人気テレビアニメのキャラクター商品の好調が継続。
「栄養バランス食品」：前月ほどの勢いはないものの、プロテインバーの好調が継続。外出増により、小腹満たし需要も高まっていると推察。

カテゴリー	金額前年比 2021年7月	前月差 2021年7月
菓子　TOTAL	98.1	-8.0
チョコレート		
キャラメル		
キャンディ	101.7	-1.9
チューインガム		
ビスケット＆クラッカー	104.4	-7.4
スナック		
煎餅・あられ		
玩具メーカー菓子	115.9	-62.1
栄養バランス食品	106.3	-11.4

嗜好品

前月よりも大きく伸長し、前年比116.8%と前年を上回った。気温上昇の影響で、以下のカテゴリーが伸長したためと見て取れる。
「アイスクリーム」：かき氷タイプの商品がとりわけ好調。
「麦茶」：ミネラルを含み、熱中症対策への効果を訴求するタイプがとりわけ好調。

カテゴリー	金額前年比 2021年7月	前月差 2021年7月
嗜好品　TOTAL	116.8	18.1
アイスクリーム	128.3	29.2
デザート類	107.6	7.8
ベビーフード	112.5	1.3
インスタントクリーム		
フレッシュクリーム		
ホイップクリーム		
インスタントコーヒー		
レギュラーコーヒー		
紅茶		
ココア		
日本茶		
麦茶	116.3	23.6
中国茶	102.7	-4.0

飲料

前月よりも大きく伸長し、前年比108.7%と前年を上回った。気温上昇による水分補給・熱中症対策の需要拡大により、スポーツドリンクや、経口補水液を含む美容・健康ドリンクを始めとする各種飲料が伸長。
「果汁飲料」：塩分を含み、熱中症対策への効果を訴求する商品のほか、メロンミルク風味等の新商品の好調も寄与。
「炭酸飲料」：ノンアルビールの好調が続くほか、塩分を含み熱中症対策への効果を訴求するものなどの新商品が寄与。

カテゴリー	金額前年比 2021年7月	前月差 2021年7月
飲料　TOTAL	108.7	10.5
牛乳		
ヨーグルト		
乳酸菌飲料	104.7	3.7
豆乳		
100%ジュース	110.9	19.0
果汁飲料	125.3	33.2
トマトジュース		
野菜ジュース	100.4	3.7
コーラ	122.3	19.2
サイダー	110.3	21.6
炭酸飲料	132.1	28.7
コーヒードリンク	101.4	-2.5
紅茶ドリンク	112.5	11.1
液体茶	111.9	13.0
スポーツドリンク	145.9	44.2
美容・健康ドリンク	126.3	27.7
栄養ドリンク	101.3	8.4
ミネラルウォーター類	121.4	16.1
乳酸飲料	116.6	14.0

アルコール

前月よりも伸長し、前年比107.1%と前年を上回った。
「ビール類」：ビールの好調が継続。糖質ゼロ系ビールのほか、数量や期間の限定品の好調が寄与。
「ウイスキー」：新商品の寄与もあり、ハイボール缶がとりわけ好調。

カテゴリー	金額前年比 2021年7月	前月差 2021年7月
アルコール　TOTAL	107.1	3.6
ビール類	110.8	6.7
ウイスキー	108.1	-0.7
ワイン		
日本酒		
焼酎		

日用雑貨

前月よりもわずかに落ち込んだものの、前年比100.1%と前年をやや上回った。気温上昇の影響で、伸びたカテゴリーもある一方で、除湿剤の需要が縮小したほか、前年の反動で住居用クリーナー等の衛生関連の商品が落ち込んだことで、全体としては伸び悩んだ。
洗濯用洗剤・中性洗剤・柔軟剤は、前年と比べて外出が増えたことや気温が上昇したことで、需要が高まったと考えられる。
殺虫剤も、気温上昇の影響で伸長したと見て取れる。

カテゴリー	金額前年比 2021年7月	前月差 2021年7月
日用雑貨　TOTAL	100.1	-0.2
歯ブラシ	100.8	-2.5
歯磨き	102.4	-3.7
マウスウォッシュ	102.9	-4.3
義歯用剤		
洗濯用洗剤	110.1	0.9
中性洗剤	106.3	-0.8
漂白剤	102.3	-0.2
柔軟剤	108.7	1.3
台所用洗剤	101.0	-7.1
住居用クリーナー		
トイレ用クリーナー		
バスクリーナー		
パイプクリーナー	100.1	-1.6
家庭用手袋	100.7	-8.4
化学雑巾		
たわし・スポンジ		
水切り袋	104.9	-3.6
殺虫剤	105.9	14.8
防虫剤		
カビ防止剤		
芳香・消臭剤		
トイレタンク用洗浄芳香剤		
除湿剤		
ラッピングフィルム		
アルミホイル	101.0	-4.3
食品包装用品	104.3	0.9
アルミガスマット		
ティッシュペーパー		
トイレットペーパー		
ペーパータオル	104.6	-7.3
ぬれティッシュ		
使い捨て紙クリーナー	100.0	-5.8
紙おむつ		
大人紙おむつ	104.6	-3.1
生理用品	103.5	-9.7
絆創膏	108.1	-1.1
使い捨てカイロ		
綿棒	100.4	-8.7

ペット

前月よりも落ち込んだものの、前年比102.0%と前年を上回った。
「キャットフード」：価格帯の高いおやつタイプが好調で、家族の一員としてキャットフードにかけるお金が増加しているものと推察される。

カテゴリー	金額前年比 2021年7月	前月差 2021年7月
ペット　TOTAL	102.0	-1.1
ドッグフード		
キャットフード	104.5	-2.7
ペット用品	101.3	-0.3

石鹸・ヘアケア

前月よりも伸長し、前年比100.9%と前年をやや上回った。依然として、前年の反動により石鹸の苦戦が続いているが、気温上昇の影響で大きく伸長した制汗剤などの寄与により、全体としては持ち直した。
「ヘアートリートメント」：くせ毛やダメージケアの効果を訴求する商品の好調が続いている。感染リスクの軽減や節約のため、美容院の利用を控え自身で手入れをする需要が高まっていると推察。
「アウトバスヘアケア」：セルフケア用途のオイルタイプのほか、ワックスやジェル等のスタイリング剤も伸長しており、前年よりも外出が増加した影響があると見て取れる。

カテゴリー	金額前年比 2021年7月	前月差 2021年7月
石鹸・ヘアケア　TOTAL	100.9	4.5
石鹸		
入浴剤	105.3	-5.0
シャンプー	104.8	0.7
ヘアーリンス	104.0	0.4
ヘアートリートメント	120.4	1.3
アウトバスヘアケア	106.3	-1.0
ヘアーカラー		
育毛トニック		
制汗剤	122.9	36.9

化粧品

前月よりも伸長し、前年比101.9%と前年を上回った。
「クレンジング」：外出が増え、化粧落としの需要が高まったことに加えて、アンチエイジングの効果を訴求する商品の好調も寄与。
「おしろい」：毎年7月に季節限定で発売される商品が、レフィル単品をラインナップに追加した寄与もあり伸長。
「マニキュア」：前年よりも外出することが増えた影響と推察。

	金額前年比 2021年7月	前月差 2021年7月
化粧品　TOTAL	101.9	2.9
クレンジング	114.7	-1.6
洗顔クリーム	103.7	-3.0
化粧水		
乳液		
栄養クリーム		
パック	109.1	4.6
美容液	101.9	4.6
化粧下地		
ファンデーション		
おしろい	109.9	11.3
口紅	109.1	16.3
眉目料	103.7	0.8
マニキュア	109.2	16.2

医薬品

前月よりも落ち込み、前年比88.0%と前年を下回った。マスクが前年の反動で落ち込んだことが医薬品カテゴリー全体を押し下げる要因となった。
「解熱鎮痛剤」：新型コロナウイルスのワクチン接種時の副反応対策のほか、自宅療養用の備えとして需要が高まったと推察。
「外用鎮痛消炎剤」：コロナ禍の外出自粛やストレスによって増加したと推察される、肩こりや腰痛への効能を訴求する商品が好調。

カテゴリー	金額前年比 2021年7月	前月差 2021年7月
医薬品　TOTAL	88.0	-7.2
コンタクト用剤	104.6	-3.2
マスク		
ミニドリンク剤	102.7	2.6
漢方薬		
総合感冒薬		
鼻炎治療剤	100.7	-2.7
解熱鎮痛剤	136.9	-8.1
鎮咳去痰剤	100.2	-13.6
口腔用薬		
胃腸薬		
整腸薬	102.9	-0.2
外用鎮痛消炎剤	106.1	-5.5
皮膚用薬		
目薬	101.7	-0.9
健康食品		

この資料は当該データの公開時点での集計であり、最新データと異なることがあります。
利用は、原則貴社内のみとし、第三者への開示が必要な場合は、弊社が定める「パネルデータレポート第三者開示・利用基準」に従います。
また、弊社に起因しない事由により生じた内容の瑕疵についての訂正・取替えに関する義務は負いかねます。

（株）インテージ
DataSource：SRI+ 2021年7月データ